

《アンケート調査》
季節の行事食、作っていますか？

■調査目的:

四季の移り変わりがはっきりしている日本では、昔から節句を始めとしてさまざまな行事があり、またその行事につきものの料理を食べてきました。季節感が薄れたとはいえ、それは代々伝わってきた大切な日本の文化です。ベターホーム協会ではこの文化を若い人たちに伝えたいと考え、「お料理歳時記」を出版しました。出版にあたって、人々は実際にどのような行事食を作っているのかを調査しました。

■調査対象: ベターホームの料理教室を受講中の 20～60 代の女性 226 名

年代構成:

年代	全体	20代	30代	40代	50代	60代以上
人数	226	34	44	42	49	57

■調査地域: 東京 大阪 名古屋 札幌 福岡

■調査時期: 2007 年 10 月

■調査方法: 料理教室でアンケート用紙を配布し、その場で記入してもらいました。

1. よく食べる行事食をいくつでも選んでください。

		全体	20代	30代	40代	50代	60代
1	年越しそば	90.3	88.2	86.4	95.2	87.8	93.0
1	おせち料理	90.3	85.3	95.5	88.1	87.8	93.0
3	雑煮	88.5	82.4	84.1	97.6	89.8	87.7
4	クリスマスケーキ	79.6	94.1	90.9	97.6	65.3	61.4
5	土用のうなぎ	73.5	73.5	65.9	78.6	67.3	80.7
6	ひな祭りのちらしずし	65.0	52.9	63.6	83.3	49.0	73.7
7	彼岸のおはぎ	60.2	35.3	47.7	59.5	69.4	77.2
8	冬至のかぼちゃ	59.7	50.0	54.5	78.6	42.9	70.2
8	節分の恵方巻き	59.7	58.8	63.6	69.0	53.1	56.1
10	子どもの日の柏餅	57.1	55.9	43.2	78.6	49.0	63.2

- 年越しそばとおせち料理が90.3%とかなりの高率で1位。1～3位まで年末年始の食べもので占められました。
- 年代別に見ると40代は10品のうち、7品が全世代中1位。一番行事食を食べているのは40代とみてよさそうです。
- 8位の恵方巻きが全国的に知られるようになったのは、ここ数年のことですが 59.7%の人が「食べる」と答えたのは急激な普及率と言っていいでしょう。「季節の行事につきもの」とPRされると、肯定的に受け入れられるようです。

- 11位以下は次のとおり。

11位	鏡開きのお汁粉	49.6
12位	七草がゆ	48.2
13位	節分の炒り大豆	36.3
14位	月見だんご	34.1
15位	ひなあられ	32.3
16位	子どもの日のちまき	30.5
17位	ひな祭りはまぐりの吸いもの	28.8
18位	節分のいわし	27.0
19位	月見の衣かつぎ	7.1

地域別ランキング

東京		
1	おせち料理	92.1
2	年越しそば	89.5
3	土用のうなぎ	86.8
4	雑煮	81.6
4	クリスマスケーキ	81.6

大阪		
1	年越しそば	94.9
2	おせち料理	93.6
3	雑煮	92.3
4	恵方巻き	83.3
5	クリスマスケーキ	76.9

名古屋		
1	おせち料理	89.2
2	年越しそば	86.5
3	土用のうなぎ	81.1
4	雑煮	78.4
4	クリスマスケーキ	78.4

札幌		
1	雑煮	93.8
1	クリスマスケーキ	93.8
3	おせち料理	81.2
3	年越しそば	81.2
3	冬至のかぼちゃ	81.2

福岡		
1	雑煮	91.2
2	年越しそば	89.5
3	おせち料理	87.7
4	クリスマスケーキ	78.9
5	おはぎ	73.7

- 地域別に集計してみると、地域ごとに特徴がありました。
- 大阪は「恵方巻き」発祥の地。20～30年くらい前から、大阪の乾物業界がのりの消費拡大のためにキャンペーンを始めたのがきっかけで定着したと言われています。さすがに地元だけあって4位にランキング入り。
- 名古屋は「雑煮」を食べる人の率が78.4%と、他の地域に比べると人気が低いのが特徴的でした。名古屋の雑煮は具が青菜だけの大変シンプルなものなので、吸いもののような感じで特別な感じが薄いからではないかという意見がありました。
- 札幌は冬至かぼちゃがランキング入り。北海道はかぼちゃの産地でもあり、保存がきくので常備している家庭が多いそうです。さらに厳しい冬を乗り切るために、かぼちゃが健康に良いという強い動機づけもあるからかもしれません。
- 東京と名古屋はランキングの構成が同じでした。いずれも土用のうなぎが人気があります。

2. あなたの家でしていることをいくつか選んでください。

		全体	20代	30代	40代	50代	60代
1	鏡もちを飾る	76.5	88.2	63.6	90.5	57.1	86.0
2	門松や輪飾りを飾る	61.5	73.5	65.9	76.2	42.9	56.1
3	彼岸に墓参りをする	52.7	61.8	34.1	45.2	55.1	64.9
4	豆まきをする	50.9	58.8	45.5	66.7	40.8	47.4
5	花見をする	45.6	38.2	52.3	57.1	26.5	52.6
6	ひな人形を飾る	40.3	50.0	31.8	59.5	30.6	35.1
7	しょうぶ湯に入る	24.8	17.6	13.6	38.1	18.4	33.3
7	お盆に迎え火、送り火をたく	24.8	29.4	13.6	19.0	28.6	31.6

- ・ 「鏡もち」「門松・輪飾り」と上位はやはり正月。
- ・ こちらも40代は8項目中、6項目が1位と高い実施率。40代は子どもや祖父母と一緒に生活している家庭も多く、家族として充実している世代だからでしょうか。
- ・ 50代は40代に比較すると対照的に実施率が一気に落ちている項目が多いのが特徴的。子どもが大きくなって家にいなくなると、おとなだけではする気が失せてしまうのかもしれませんが。
- ・ 20代は意外に実施率が高いです。「彼岸の墓参りをする」人が60代に次いで多く、「花見をする」人よりもずっと多いのは意外な結果。これは、本人がするというよりは、まだ親元にいる人が多いからと言っていいでしょう。祖父母や親から子へと受け継がれている様子がうかがえます。

3. あなたにあてはまることは？ いくつか選んでください。

		全体	20代	30代	40代	50代	60代
1	できるだけ季節の行事はするようにしている	58.0	41.2	43.2	76.2	46.9	75.4
2	季節の行事は好き	38.9	38.2	43.2	50.0	38.8	28.1
3	季節の行事は好きだが、なかなかできない	38.5	47.1	34.1	33.3	26.5	50.9
	できない理由						
	a. 子どもが大きくなったから	47.1	0.0	0.0	19.0	69.2	82.8
	b. しきたりなどがわからないから	35.6	43.8	53.3	42.9	38.5	17.2
	d. めんどろ	32.2	43.8	60.0	35.7	23.1	13.8
e. 忙しい	31.0	43.8	20.0	35.7	30.8	14.0	
4	あまり興味がない	6.2	5.9	11.4	7.1	6.1	1.8

- ・ 20～30代は「できるだけ季節の行事はするようにしている」人が他の世代より少ないのが実態。30代は「あまり興味がない」という人が一番多く、11.4%でした。
- ・ 20～30代の人たちの季節の行事ができない理由として、「しきたりなどがわからないから」「めんどろ」「忙しい」などが目立ちました。確かにやむをえない面もあります。
- ・ 「できるだけ季節の行事はするようにしている」のは40代 76.2%、60代 75.4%と同じような数字です。しかし40代は「季節の行事は好き」と答えた人が 50.0%と多いのに対して、60代は「好き」と答えたのはわずかに 28.1%。60代は好きでしているのではなく、義務感からしているのでしょうか？
- ・ 子どもが成長してしまうと行事をしなくなる傾向がはっきり出ました。子どもがいるからこそ、親は子を喜ばせようとして一生懸命行事をしたり、料理をしたりするもの。「めんどろ」とは思っても、子どもがいるうちでないとなかなかやる気も出ないものですから、ぜひ、季節の行事と料理を生活に取り入れ、子どもたちに伝えていってほしいものです。

以上